

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等

調査票 P6

1 種苗費

(1) 種子 (購入)

品 種 名	数 量	単 位	金 額 (円)
計		—	392,000

(2) 種子 (自給)

品 種 名	数 量	単 位

種苗費 (購入金額)

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、種苗費の補助科目として「種子代」を設定しました。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				392,000	
種子代				392,000	

種子や苗の投入数量

「農業簿記」では対応しておりません。

小麦生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

次ページ以降の調査項目も同じです。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P7

2 肥料費

(1) 購入

資 材 名 等	数 量	単 位	金 額（円）	対象品目 負担割合 （%）	備 考 欄
計	—	—	万 千 百 十		
窒 素 質	ノウスイ硫安 2000	kg	94000	60	
リ ん 酸 質					
カ リ 質					
け い 酸 質					※融雪剤として使用した 分は「5 諸材料費」 に記入してください。
（炭 酸 カルシウム （石灰含む））					
複 合 肥 料	配合〇〇号 22500	kg	2025000	60	
土 壌 改 良 資 材					微生物資材、液肥、農 業入り肥料、ペースト 肥料、苦土質肥料、微 量要素肥料、有機質肥 料など
たい肥・きゅう肥	2700	kg	5805	60	
そ の 他	—	—	9000	60	

肥料費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、前年に購入したものは投入しておりません。

また、肥料費の補助科目として「窒素質肥料（硫安）」「複合肥料（配合肥料）」等を設定しています。

合計残高試算表

畑作部門

損益計算書

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 （%）
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				542,629	
種子				482,629	
肥料費				2,133,805	
窒素質肥料（硫安）				94,000	
リン酸質肥料				0	
カリ質肥料				0	
ケイ酸質肥料				0	
炭酸カルシウム				0	
複合肥料（配合肥料）				2,025,000	
土壌改良資材				0	
たい肥・きゅう肥				5,805	
その他				9,000	

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

2 肥料費（続き）

(2) 自給（自家生産した肥料）

資 材 名 等	数 量 (kg)	対象品目 負担割合 (%)
計		
た い 肥		
き ゆ う 肥		
稲 ・ 麦 わ ら	685	60
そ の 他		

3 農業藥劑費

資 材 名 等		金 額 (円)	対象品目 負担割合 (%)	備 考 欄
計		万 千 百 十		
殺虫剤				
殺菌剤	〇〇乳剤	7 6 5 0 0 0	6 0	
殺菌剤 殺虫				
除草剤	△△フロアブル	8 2 1 5 0 0	6 0	
そ の 他		2 9 1 2 0	6 0	植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

自給肥料の投入量

「農業簿記」では対応しておりません。
小麦生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

農業藥劑費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、前年に購入したものは投入しておりません。

また、農薬費の補助科目として「殺虫剤」「殺菌剤」等を設定しています。

損益計算書

烟作部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				392,000	
肥料費				2,133,805	
農薬費				467,029	
殺虫剤				0	
殺菌剤 (〇〇乳剤)				765,000	
殺虫殺菌剤				0	
除草剤 (△△フロアブル)				821,500	
その他				29,120	

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P8

4 光熱動力費

資 材 名 等	数 量	単 位	金 額（円）	対象品目 負担割合 （%）
購 入（計）		—	万 千 百 十	
動 重 油		L		
軽 油	5 2 9 5	L	4 1 8 3 0 5	6 0
灯 油		L		
燃 ガ ソ リ ン	1 3 3	L	1 6 6 2 5	4 5
潤 滑 油	4 5	L	2 2 5 9 0	4 5
混 合 油		L		
電 力 料		—	3 2 7 9 0	4 5
そ の 他 （水道料、木炭などの燃料）		—	1 3 5 0 0	4 5
自 給	1 0 0	kg		4 5

5 諸材料費

資 材 名 等	数 量	単 位	金 額（円）	対象品目 負担割合 （%）
購 入（計）		—	1 4 0 0 0 0 0	6 0
自 給	なわ 1 0	m		6 0

光熱動力費及び諸材料の購入金額

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、動力光熱費の補助科目として「重油」、「軽油」等を設定しています。

なお、動力光熱費について、事前に部門別に仕分ける事が困難な場合は、共通部門として入力しておき、「全部門」を選択して、計算させます。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比（%）
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				392,000	
肥料費				2,133,805	
動力光熱費				503,810	
重油				0	
軽油				418,305	
灯油				0	
ガソリン				16,625	
潤滑油				22,590	
混合油				0	
電力料				32,790	
その他				13,500	
諸材料費				140,000	

自給資材について

「農業簿記」では対応しておりません。

小麦生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P8

6 賃借料及び料金

料 金 名 等		数 量 等	単 位	金 額 (円)	対象品目 負担割合 (%)
計			—		
負担金	薬 剤 散 布		—	105000	60
	共 同 施 設		—		
	農 機 具 借 料		—	113000	45
	航 空 防 除 賃	2750.0	a	412500	60
	賃 耕 料		a		
	は 種 ・ 定 植 料		a		
	収 穫 請 負 せ 賃		a		
	乾 燥 調 製 料	83790	kg	1675800	100
	そ の 他		—	9700	60

賃借料及び料金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、賃借料並びに作業委託料の補助科目として共同による

「薬剤散布共同負担金」「航空防除賃」等を設定しています。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				392,000	
賃借料				218,000	
薬剤散布共同負担金				105,000	
共同施設負担金				0	
農機具借料				113,000	
その他				0	
作業委託料				2,018,000	
航空防除賃				412,500	
賃 耕 料				0	
は種・定植賃				0	
収穫請負せ賃				0	
乾燥調整料賃				1,595,800	
その他				9,700	

数量の入力

「農業簿記」では対応しておりません。

元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。

小麦生産費統計調査票 「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【4】 物件税及び公課諸負担

調査票 P9

1 物件税

区 分	金 額 (円)	対象品目 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
固定資産税 (建物)	1 1 0 0 0	5 5
固定資産税 (農機具)	2 3 6 0 0	4 5
不動産取得税 (土地以外)		
自動車取得税		
水利地益税		
都市計画税 (土地以外)		
共同施設税		

2 公課諸負担

区 分	金 額 (円)	対象品目 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
集落協議会費 (地域集落等の会費)	9 6 0 0	7 0
農業協同組合費	3 8 0 0 0	7 0
農事実行組合費 (麦作部会等の各種部会費)	1 7 0 0	7 0
農業共済組合賦課金	4 0 0 0 0	6 0

物件税及び公課諸負担

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、物件税並びに公課諸負担の補助科目として「固定資産税」「自賠責保険」等を設定しています。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て畑作で負担したと見なしています。

なお、自動車に関する物件税（自動車重量税、自動車税、軽自動車税）は、調査票11ページの【8】自動車の所有状況に記入してください。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税 公課				123,900	
固定資産税・建物				11,000	
固定資産税・農機				23,600	
不動産取得税 (土地以外)					
自動車取得税					
水利地益税					
都市計画税					
共同施設税					
軽・自動車税					
自動車重量税					
自賠責保険					
集落協議会費				9,600	
農業協同組合費				38,000	
農事実行組合費				1,700	
農業共済組合賦課金				40,000	